

# 漁海況情報

第628号(令和6年10月10日発行)

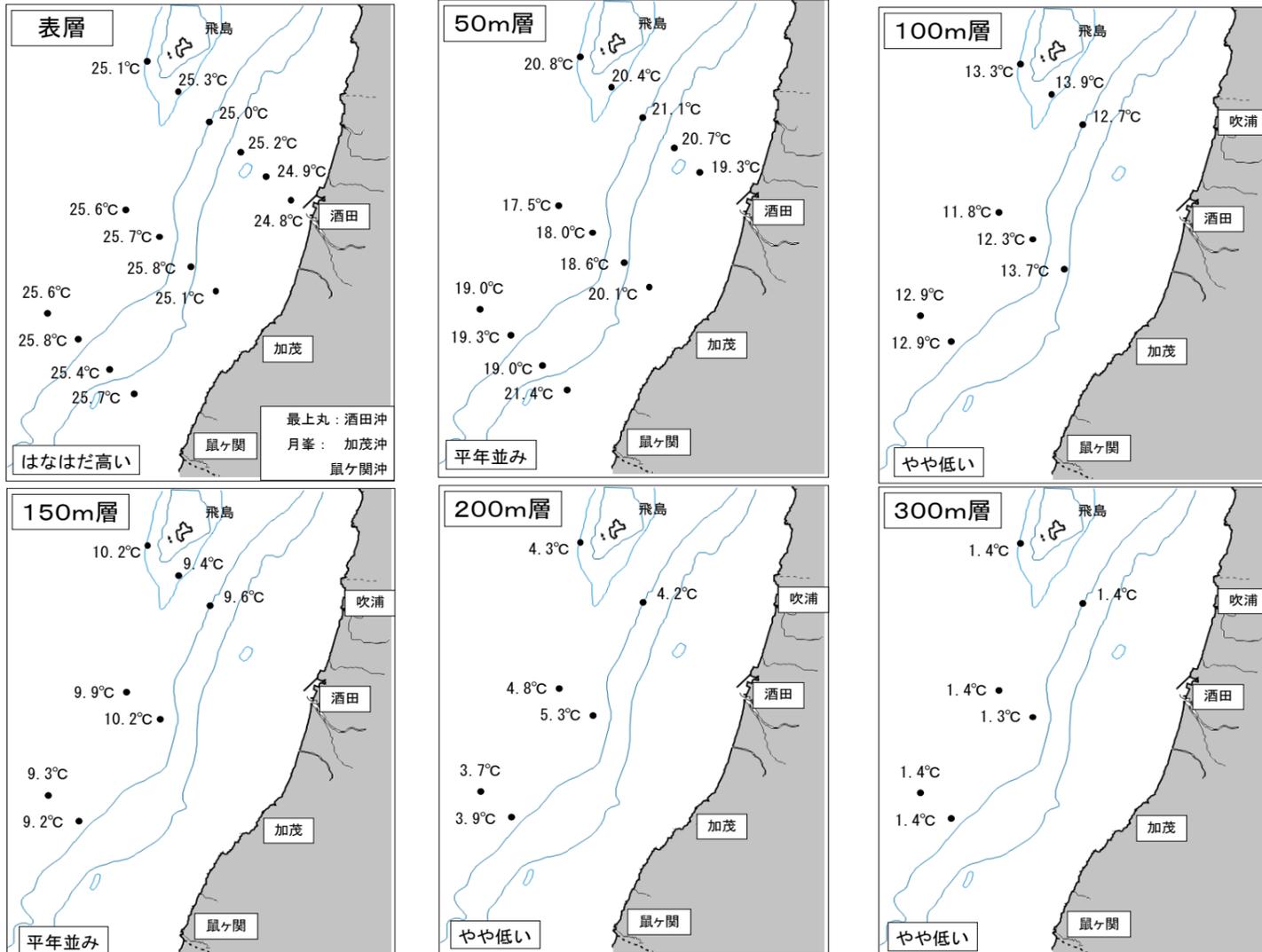
発行:山形県水産研究所 〒997-1204 鶴岡市加茂字大崩594  
 TEL0235(33)3150 FAX0235(33)0379  
 ホームページ: <http://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/>

- ・庄内総合支庁水産振興課「月峯」と水産研究所「最上丸」は、9月26日と10月2日に沿岸の水温観測を実施しました。その結果、表層は「はなはだ高い」、50m層および150m層は「平年並み」、100m層、200m層および300m層は「やや低い」でした。
- ・9月の地先水温は鶴岡市加茂(水産研究所)では「はなはだ高い」、鶴岡市三瀬(栽培漁業センター)では「かなり高い」でした。
- ・国立研究開発法人水産研究・教育機構が10月9日に発表した「2024年度第3回日本海海況予報」によると、日本海北部における対馬暖流域の表面水温は「やや高め」、50m深水温は「やや高め」で経過します。
- ・大型クラゲは県内でも断続的に入網しているようです。引き続き警戒してください。

沿岸25海里定点各層別の平均水温

	表層	50m層	100m層	150m層	200m層	300m層
本年	25.4	19.6	12.9	9.7	4.4	1.4
前年差	+0.2	-1.1	-2.3	-1.7	-2.6	-0.4
平年差	+2.6	-0.5	-1.0	-0.2	-0.8	-0.1
評価	はなはだ高い	平年並み	やや低い	平年並み	やや低い	やや低い
(前月評価)	(やや高い)	(平年並み)	(平年並み)	(平年並み)	(平年並み)	(平年並み)

評価の表現: “平年並み”は約2年に1回、“やや”は約4年に1回、“かなり”は約10年に1回、“はなはだ”は約20年以上に1回の出現確率を表しています。



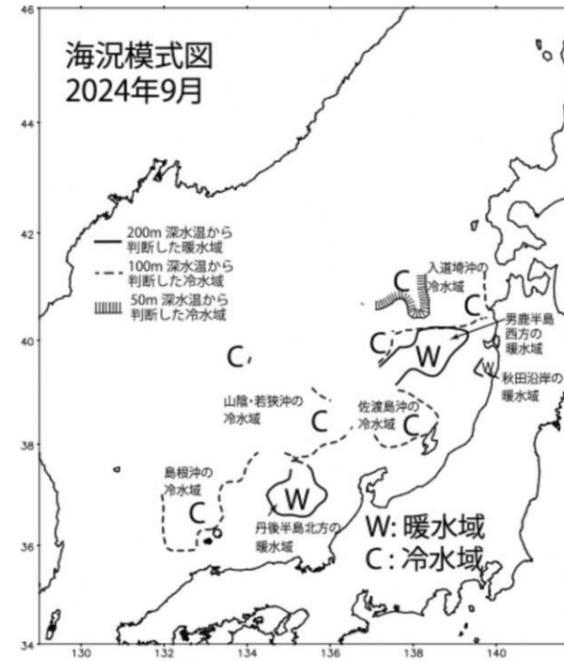
地先平均水温(9月)

場所	水温	前年差	平年差	評価
水産研究所(鶴岡市加茂港内)	27.1	-0.3	+2.5	はなはだ高い
栽培漁業センター(鶴岡市三瀬地先)	26.9	-0.7	+1.8	かなり高い

## 1 2024年度第3回日本海海況予報

(国立研究開発法人水産研究・教育機構 10月9日プレスリリースより作成)

### 今後の見通し(2024年10月中旬~12月)のポイント



- 丹後半島北方の暖水域は北方に移動し、大和堆周辺に分布する。男鹿半島西方の暖水域は西方に移動し、能登半島北方に分布する。秋田沿岸の暖水域は弱体化し、消滅する。
- 島根沖の冷水域の張り出しは、かなり小さく接岸距離は平年並みで経過する。山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、やや小さくやや接岸で経過する。佐渡沖の冷水域の張り出しは、やや小さくやや離岸で経過する。入道崎沖の冷水域の張り出しは、やや小さく接岸距離は平年並みで経過する。
- 対馬暖流域の表面水温は、“やや高め”で経過する。
- 対馬暖流域の水深50m水温は、日本海西部で“平年並み”、北部は“やや高め”で経過する。

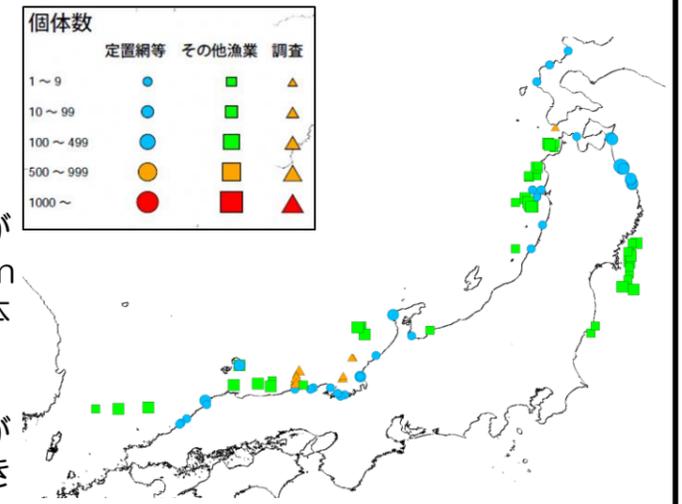
(注)用語の定義は以下のとおり。  
 “はなはだ”:出現確率約22年に1回、“かなり”:出現確率約7年に1回  
 “やや”:出現確率約3年に1回、“平年並み”:出現確率約2年に1回

## 2 大型クラゲ出現情報

- 県内では9月27日に定置網で入網したのを最後に、それ以降の入網の報告はありません。
- なお、県の漁業試験調査船最上丸が10月8日に鼠ヶ関沖水深約300mで底びき網調査を行った際、2個体の入網を確認しました。

- 日本海中西部の底びき網では入網が続いているようですので、引き続き警戒をしてください。

(一般社団法人 漁業情報サービスセンター ホームページより、直近2週間の大型クラゲ出現状況)



# 9月の漁況

- ・延べ操業隻数は1,575隻で前年比98%、総漁獲量は229トンで前年比46%でした。
- ・底びき網漁業の漁獲量は98トンで前年比63%でした。スケソウダラ、アカラ(ハツメ)およびニギスは前年を上回り、タイ類、ヒラメ、口細(マガレイ)、ねさし(マコガレイ)、大羽(ムシガレイ)、ヤナギムシガレイ、その他のカレイ類、ハタハタ、ホッケ、アンコウ、ノドグロ(アカムツ)、マダラ、スルメイカおよびタコ類は前年を下回りました。紅エビ(ホッコクアカエビ)は前年並みでした。
- ・はえなわ漁業の漁獲量は15トンで前年比173%でした。タイ類、サワラおよびサバは前年を上回り、ブリ類、メバル類、ノドグロ(アカムツ)およびアマダイは前年を下回りました。
- ・採貝藻漁業の漁獲量は16トンで、前年比123%でした。サザエは前年を上回りました。
- ・定置網漁業のサケの漁獲はありませんでした。
- ・その他の漁業では、さし網漁業のウスメバルおよび一本釣り漁業のブリ類は前年を上回り、船凍いか釣り漁業のスルメイカ、いか一本釣り漁業のスルメイカ、さし網漁業のキスおよびかご漁業の浅海性バイ類は前年を下回りました。

- \* 前年比は令和元年～令和5年までの平均値と比較した値です。
- \* 前年比85%～115%は「前年並み」、前年比84%以下は「前年を下回る」、前年比116%以上は「前年を上回る」としました。
- \* 小数点以下を四捨五入して表示しているため、合計が合わない場合があります。

全漁業支所別漁獲量 単位:隻、kg

支所	吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	93	325	179	84	171	130	132	461	1,575	123%	98%
漁獲量	4,412	11,546	63,470	61,907	20,761	10,644	5,000	50,797	228,537	71%	46%
前年比	88%	93%	37%	96%	135%	104%	481%	123%	71%		
前年比	69%	133%	20%	120%	79%	76%	170%	81%	46%		

底びき網漁業 単位:隻、kg

支所	吹浦	酒田	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	12	50	44	23	136	265	105%	87%
タイ類	149	13,467	454	215	2,099	16,383	91%	83%
ヒラメ	95	39	22	54	82	291	49%	46%
口細(マガレイ)	38	47	239	84	362	770	105%	25%
ねさし(マコガレイ)	42	280	419	36	70	847	114%	43%
大羽(ムシガレイ)	41	224	930	278	509	1,983	93%	42%
ヤナギムシガレイ	17	29	338	175	118	676	73%	33%
その他のカレイ類	60	44	241	95	1,020	1,459	84%	69%
ハタハタ	54	16	55	11	19	155	91%	9%
スケソウダラ	39	49	141	57	173	458	99%	207%
ホッケ	56	60	115	70	1,778	2,079	6%	4%
アンコウ	82	264	1,105	401	987	2,839	101%	78%
ノドグロ(アカムツ)	102	732	687	167	758	2,446	218%	83%
アカラ(ハツメ)					3,663	3,663	349%	165%
マダラ	146	62	160	172	921	1,461	53%	13%
ニギス		24,950	14	3	37	25,003	193%	424%
紅エビ(ホッコクアカエビ)		609	12	15	9,614	10,249	107%	91%
スルメイカ	221	497	707	339	4,139	5,902	82%	71%
タコ類	62	25	71	154	1,146	1,459	63%	65%
その他	783	3,339	3,475	2,359	10,131	20,088		
計	1,987	44,732	9,183	4,684	37,625	98,210	84%	63%
前年比	51%	73%	98%	72%	105%	84%		
前年比	36%	61%	60%	62%	70%	63%		

はえなわ漁業

単位:隻、kg

支所	吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	36	7	9	3	10	27	57	71	220	242%	105%
タイ類	38		15	18	7	24	189	387	677	70%	121%
ブリ類	10		11	12	17	40	51	87	228	9%	31%
サワラ	321		215	1	562	686	2,269	6,517	10,571	15432%	204%
メバル類		13	1		3	10		11	38	60%	21%
ノドグロ(アカムツ)		4	23		60			22	109	104%	65%
アマダイ	72					6	3	2	83	41%	62%
サバ	491		119		85	132	480	784	2,091	306%	337%
その他	273	70	44	17	14	41	95	441	995		
計	1,205	88	427	48	748	938	3,088	8,250	14,791	276%	173%
前年比	304%	329%	13%	61%	418%	472%	1628%	751%	276%		
前年比	318%	27%	44%	27%	145%	77%	185%	251%	173%		

採貝藻漁業

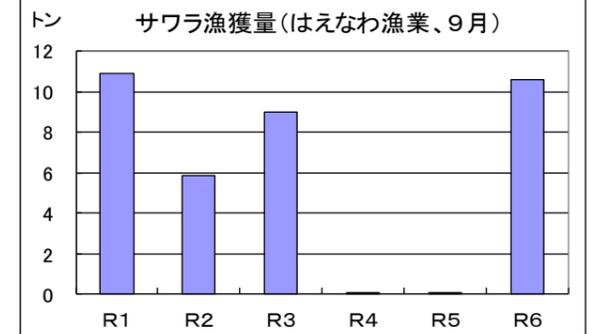
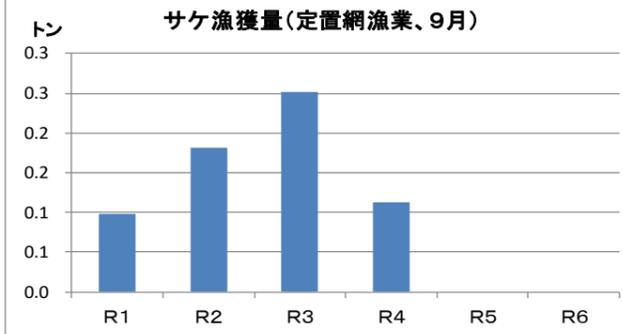
単位:隻、kg

支所	吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	3	175	5	21	50	19	67	209	549	128%	112%
サザエ	15	6,133	232	553	2,167	736	1,505	4,067	15,407	136%	126%
その他	9				57		350	110	526		
計	24	6,133	232	553	2,224	736	1,855	4,177	15,933	132%	123%
前年比	16%	120%	90%	149%	153%	168%	226%	121%	132%		
前年比	29%	193%	112%	97%	108%	85%	155%	87%	123%		

その他の漁業

単位:隻、kg

漁業種類	船凍いか釣り漁業	いか一本釣り漁業	さし網漁業		あまだいさし網漁業	ごち網漁業	一本釣り漁業	かご漁業
延べ操業隻数	2	3	163		29	54	185	66
総漁獲量(kg)			5,811		2,360	11,042	5,857	3,470
前年比			144%		134%	121%	249%	86%
前年比			142%		106%	100%	192%	60%
対象魚種	スルメイカ	スルメイカ	ウスメバル	キス	アマダイ	タイ類	ブリ類	浅海性バイ類
漁獲量(kg)	8,912	405	4,576	87	1,925	9,994	1,479	3,466
前年比	14%	1%	141%	261%	134%	117%	319%	86%
前年比	4%	1%	155%	55%	101%	95%	159%	60%



## 最上丸の調査予定 (10月中旬～11月上旬)

- ・沿岸・沖合の海洋観測を行います。
- ・大瀬・温海沖の海底地形調査を行います。
- ・鼠ヶ関沖のズワイガニ調査を行います。

みなさま、調査への御理解・御協力  
よろしくお願ひします。

